

Pro-B MainsDock

ユーザーガイド

Profoto をお選びいただきありがとうございます。 うございます。

Pro-BMainsDockユニットを信頼しご購入いただいたお客様に心より感謝いたします。40年にわたり、私たちは完璧な光を追求してきました。私たちを後押ししてきたのは、最も要求の高いフォトグラファーにさらに優れたツールを提供するのだという私たちの信念です。私たちは、広範囲にわたる厳しいテスト・プログラムに合格した製品のみを出荷しています。製品すべてが、指定された性能、品質および安全性の基準に適合していることが確認されています。Profoto 製品がパリ、ロンドン、ミラノ、ニューヨーク、東京、ケープタウンをはじめとする世界各地のレンタルスタジオやレンタルハウスで使用されているのはこの高い信頼性のためです。

フォトグラファーの中には、**Profoto** の装置が使用されているかどうか、写真を見ただけで見分けることができるという人がいます。

世界中のプロのフォトグラファはライティングと光拡散において Profoto の専門的技術を評価するようになりました。我々の広範囲な光拡散ツールは、フォトグラファに彼ら自身の光を作り出し調整するために無制限な将来性を提供します。

すべてのリフレクターとアクセサリは特別なライティングを作り出します。またユニークなプロフォト・フォーカシング・システムは、いくつかのリフレクターを組み合わせただけであなた自身のライティングを作り出す可能性を提供しています。

どうぞ Profoto 製品をお楽しみください。

注意事項



安全の注意！

以下のすべての注意事項を注意深く読み遵守し、負傷またはダメージを避けてください。このユーザーズガイドは必ず装置とともに携帯し、いつでも参照できる状態にしてください！ Profoto製品はプロの使用を想定して設計されています。お子様の使用は想定しておりません。ジメジメした湿気の多い環境に装置を置いたりまたは使用してはいけません。可燃性ガスやほこりのある場所で装置を置いたりまたは使用してはいけません。爆発の危険性がある環境で使用しないでください。装置を水没させたり水滴のかかる場所で使用しないでください。水分の入った容器を装置の上に置かないでください。ジェネレーターを零下や零度に近い低気温の場所に置かないでください。暖かい場所に移動してすぐに使用すると容量の低下や結露の恐れがあります。装置は、公認の有資格あるサービス要員によってのみサービスまたは変更されなければなりません。コンプライアンスに責任を負う当事者によって明らかに承認されないいかなる変化または修正も装置を操作するユーザの権限を無効にするでしょう。認可済み/付属の電源コードのみを使用してください。



注意 — 感電の危険 — 高電圧！

デバイスの蓋を開けたり、分解したりしないでください。装置は高電圧の電力で作動しています。内部キャパシタは、デバイスの電源を切った後も長時間帯電したままになっています。

NOTICE

注意 — 装置が高温になる危険性

空気の流れを妨げないでください。熱源にデバイスを近づけないでください（直射日光など）。デバイスへの余計な加熱が避けられます。



廃棄

装置は環境に有害な電気および電子部品を含んでいます。装置はプロフォト代理店に無料でご返却いただき、WEEEに従ってリサイクルすることができます。梱包材は捨てないでください。現地当局に最寄のリサイクルセンターの場所について問い合わせてください。製品寿命が終わったとき、廃棄物の個別処分のための現地の法的要件、例えばヨーロッパ市場での電気および電子器具のためのWEEE指令を遵守してください。

目次

システム概要.....	6
各部名称.....	7
機能	8
電源	8
過熱保護.....	8
固定ブラケット	8
ジェネレータの機能.....	9
バッテリーインジケータ.....	9
リサイクル時間.....	9
モデリングライト.....	9
チャージャー	9
操作説明.....	10
ジェネレータの取り付け	10
ジェネレータの取り外し	10
トラブルシューティング.....	11
テクニカルデータ.....	12
保証.....	12
規制情報.....	13
EC適合宣言.....	13

システム概要

Pro-B MainsDockは電源ユニットです。

Pro-B MainsDockユニットは、バッテリーではなく、AC主要電源からフラッシュジェネレータに電源を供給するために使用します。ジェネレータの操作はバッテリーの容量により制限されないため、Pro-B MainsDockの場合は、長時間の使用、¹モデリングライトの連続稼働が可能になります。

Pro-B MainsDockは下記のProfotoジェネレータに対応します。

- ・ Pro-7b
- ・ Pro-B2 EOP² - 必要なアップデート
- ・ Pro-B3シリアル番号(1104180060以上)

6



注意！

Pro-B3(シリアル番号1104180060以下)、不連続

Pro-B2ジェネレータが、Pro-B Mainsdockと適切に併用されるにはEOP²-アップデートが必要です。

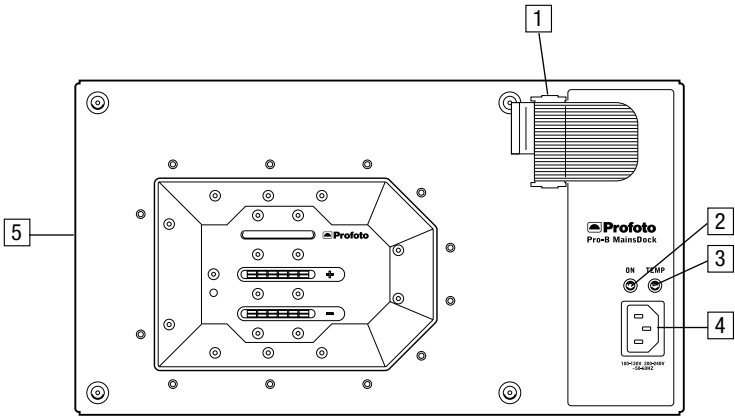
詳細については、最寄の販売店またはサービスステーションに連絡してください。

一部のコンポーネントがオーバーヒートする可能性があるため、Pro-B Mainsdockとアップデートされていないジェネレータの併用を推奨しません！

1 Pro-7bには適用されません。

2 EOPは、「Extended Overheat Protection: オーバーヒート保護機能の強化」を表しています。

各部名称



1. 固定ブラケット
2. 電源オンインジケータ
3. 過熱インジケータ
4. 電源(AC)コネクタ
5. 通気孔 (図では非表示)

機能

電源

Pro-B MainsDockユニットは、90-130 VACまたは180-240 VAC、50-60 Hzに接続します。ユニットを電源に接続すると自動的に電圧および周波数を感知して適応します。

Pro-B MainsDockをAC主要電源に接続すると、電源オンインジケータ[2]が緑色に常時点灯します。

過熱保護

- 8 Pro-B MainsDockユニットにはファンが搭載されており、ジェネレータの過熱を防ぎます。ジェネレータが負荷時に稼働するたびに(たとえば、リサイクリング)、ファンは作動します。ファンがオンオフを切り替えるのはまったく正常な動作です。通気孔を塞がないでください[5]。

ジェネレータ内の温度が高過ぎる場合、Pro-B MainsDockユニットは自動的にオフになり、過熱インジケータ[3]が赤色に常時点灯します。温度が下がると、Pro-B MainsDockユニットは自動的に再度オンになります。

固定ブラケット

固定ブラケット[1]は磁力を使用して、ジェネレータをPro-B MainsDockユニット上に固定します。固定されると、ジェネレータとPro-B MainsDockユニットは、ジェネレータのハンドルで運ぶことができます。

ジェネレータの機能

Pro-B MainsDock ユニットは、フラッシュジェネレータの機能に影響することがあります。

バッテリーインジケータ

ジェネレータがPro-B MainsDockユニットから電源供給されると、ジェネレータのバッテリーインジケータが赤色に常時点灯します。これはまったく正常です。その理由は、Pro-B MainsDockユニットがバッテリーよりも少し低い電圧レベルで作動しているためです。

リサイクル時間

ジェネレータのリサイクル時間は、ジェネレータがバッテリーから電源供給される場合と比較して、Pro-B MainsDock に使用される場合は通常低くなります。セクションテクニカルデータに記載されている様に、リサイクル時間はエネルギー設定に依存します。

モデリングライト

ジェネレータがPro-B MainsDockユニットから電源供給されると、モデリングライトは連続オンになります。(Pro-7bジェネレータには適用されません。このジェネレータは、最長60秒後に、モデリングライトを自動的にオフにします。)

Pro Bヘッドは、連続オンになると、オーバーヒートします。オーバーヒートになると、自動的にオフになります。連続光の場合は、Projヘッドを推奨します。

チャージャー

ジェネレータがPro-B MainsDockユニットから電源供給されると、チャージャーはジェネレータに接続されません。

操作説明

ジェネレータの取り付け

1. バッテリーをジェネレータから取り外します。
2. ジェネレータを Pro-B MainsDock にはめます。
3. 固定ブラケット [1] がジェネレータを固定していることを確認します。
4. 電源ケーブルを Pro-B MainsDock および AC 主要電源に接続します。電源オンインジケータ [2] は緑色になり、主要電源が接続されていることを示します。

ジェネレータの取り外し

1. Pro-B MainsDock を AC 主要電源から取り外します。
2. 電源オンインジケータ [2] は数秒間緑色のままです。
3. 固定ブラケット [1] を押し下げて、ジェネレータを取り外します。

トラブルシューティング

症状	診断	措置
電源オンインジケータ[2]が点灯しません。	ケーブルの接続不良。	AC主要ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
過熱インジケータ[3]が赤色に点灯し、ジェネレータがオフになります。	Pro-B MainsDock は、オーバーヒートを防ぐために、ジェネレータを自動的にオフにします。	温度が下がるまでお待ちください。Pro-B MainsDock は、温度が充分低い場合にジェネレータを自動的にオフにします。 負荷を軽減して、通気を良くしてください。
ジェネレータのバッテリーインジケータが赤色に点灯します。	これはまったく正常で、エラーを示すものではありません。	

テクニカルデータ

寸法 (LxWxH)	333x183x210
重量	3.5 kg
入力電源	100-240V +-10 %、50/60 Hz
冷却ファン	搭載
過熱インジケータ	搭載
12 ストレージ温度範囲	-40 ~ +85 °C、10 ~ 95 % RH
運転温度範囲	-20 ~ +50 °C、20 ~ 90 % RH、結露なし
リサイクル時間、Pro-7b	3,3s (0,3fps) @ 1200Ws 高速 5,2s (0,19fsp) @ 1200Ws 通常 120ms (8,3fps) @ 18Ws 高速 180ms (5,5fps) @ 18Ws 通常
リサイクル時間、Pro-B2および Pro-B3	2.8s (0,36fps) @ 1200Ws 高速 4.9s (0,2fps) @ 1200Ws 通常 50ms (20fps) @ 9.4Ws 高速 66ms (15fps) @ 9.4Ws 通常

すべてのデータは公称値であり、プロフォト社は予告なしに変更する場合があります

保証

すべてのProfoto製品には出荷前に個別にテストが行われており、フラッシュチューブ、ガラスカバー、モデリングランプ、バッテリー、ケーブルを除いて2年間保証が付いています。Profotoは、誤使用または他社製アクセサリによる技術的不具合については責任を負いません。何らかの技術的問題がある場合は、公認Profotoサービスステーションにお問い合わせください。保証は、製品が購入された国の法律に従い解釈されるものとします。

規制情報

EC適合宣言

低電圧指令 (LVD) 2006/95/EC および EMC 指令 2004/108/EC に準拠。

製造業者: Profoto AB
所在地: Box 2021、128 21 SKARPNÄCK、Sweden
製品: Profotoフラッシュジェネレータ用主要ドッキングステーション;
Pro-7b、Pro-B2およびPro-B3
タイプ: Profoto Pro-B MainsDock

Profoto は、本製品が低電圧指令 (LVD) 2006/95/EC および EMC指令 2004/108/EC の不可欠な要件に準拠していることを宣言します。

13

準拠性評価については、以下の規格の該当箇所を適用しています:

IEC 60950-1
IEC 60065:2001 + A1:2005
EN 60065:2002
EN 61000-3-2,-3
EN 61000-4-2,3,4,5,6,8,11

Skarpnäck、2010年XXX



Bo Dalenius、VPテクノロジーおよびQA
Profoto AB

技術的なデータは予告なしに変更される場合があります。

344033-1-181. Printed in Sweden.

Profoto AB
SWEDEN

電話 +46 8 447 53 00
info@profoto.com
www.profoto.com

 **Profoto**[®]
The Light Shaping Company™